

# 令和6年度組織目標

部局名	総務部
R6年度に特に注力する事項（目標）	<p>○新しい政策にチャレンジするための業務見直し・効率化の推進</p> <p>目標： ・全庁的な業務の見直し・効率化を推進し、政策課題に柔軟に対応できるよう組織体制や財源配分の全体最適化を図る。</p>
	<p>○県庁を担うひとつづくりの推進</p> <p>目標： ・時間外勤務の縮減はもとより、ハードソフト両面から働きやすい職場環境を整備する。 ・職員年齢構成等の変化を踏まえ、若手・中堅職員の育成および管理監督職のマネジメント力向上を図る。 ・滋賀県職員の志（パーパス）を職員に浸透させ、職員のワークエンゲージメントの向上を図る。</p>
	<p>○滋賀にふさわしい税制の検討を含めた歳入確保の推進</p> <p>目標： ・地域交通を支える税制度として、交通税に関する検討と議論を進める。 ・企業等との継続的な関係構築を図り寄附等の獲得を推進する。</p>
	<p>○市町に寄り添った的確で迅速な助言・支援</p> <p>目標： ・年間を通じ、行財政等の課題について情報共有・情報交換に取り組み、常に市町の思いに寄り添って助言・支援を行う。</p>
	<p>○庁舎等のCO2ネットゼロの推進</p> <p>目標： ・本庁舎における施設・設備の省エネ化や老朽化車両の次世代自動車への更新を進める。 ・部内の業務を見直し、ペーパーレス化の一層の推進を図る。</p>

所属名	総務課
R6年度に特に注力する事項（目標）	<p>○庁舎等の利活用の推進</p> <p>目標： ・本庁舎等の今後の利活用の方向性について、関係部局と連携しながら検討を進める。</p>
	<p>○庁舎等のCO2ネットゼロの推進</p> <p>目標： ・遮熱フィルムの設置による省エネ化（R6:本館）→本庁舎100% ・集中管理車の次世代自動車更新（R6:4台）→93%（25台/27台）</p>
	<p>○【見直し・効率化】公用車の集中管理化の推進</p> <p>目標： ・本庁舎・大津合同庁舎内に所在する全ての公用車（110台）を集中管理へ移行するとともに、保守管理業務の包括外部委託化について検討する。</p>

所属名	人事課
R6年度に特に注力する事項（目標）	○県庁の働き方改革の一層の推進 目標： <ul style="list-style-type: none"> <li>・時間外勤務550時間超の職員を5%以下（R8）の達成</li> <li>・勤務時間の柔軟化の検討・方向性の確定</li> <li>・年次有給休暇の年間平均取得日数14日/年（R8）の達成</li> </ul>
	○【見直し・効率化】働く場所の柔軟化 目標： <ul style="list-style-type: none"> <li>・現場に近い（北部振興に資する）働く場所の検討・具体化</li> </ul>
	○職員がいきいきと働ける環境の整備 目標： <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で活躍する職員の事例紹介など職員の地域活動を促進</li> <li>・障害者である職員の働ける職場の拡大</li> <li>・女性管理職15%、係長30%（R8）</li> </ul>
	○若手・中堅職員の育成および新規採用職員研修の充実 目標： <ul style="list-style-type: none"> <li>・レベルアップやチャレンジへの意欲があると考える職員の割合 95%（R8）の達成</li> <li>・若手職員・中堅職員向けの研修満足度 95%</li> </ul>
	○管理監督職のマネジメント力向上およびリスキリング（学び直し）の機会の確保 目標： <ul style="list-style-type: none"> <li>・レベルアップやチャレンジへの意欲があると考える職員の割合 95%（R8）の達成</li> <li>・マネジメント力向上のための研修満足度 95%</li> </ul>

所属名	行政経営推進課
R6年度に特に注力する事項（目標）	○滋賀県職員の志（パーパス）の実践と発信 目標： <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務にやりがいを感じている職員の割合 90%以上（R8年度）</li> </ul>
	○歳入確保の推進：企業等と継続的な関係構築および新たな歳入確保策の検討 目標： <ul style="list-style-type: none"> <li>・寄附等の獲得 1,600百万円（R5～R8年度）</li> </ul>
	○業務の見直し：各所属の取組への伴走支援および集中取組期間における事業見直しの推進 目標： <ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃から業務の進め方を意識的に工夫し、前例にとらわれず見直しをしている職員の割合 100%（R8年度）</li> <li>・デジタル技術などによる申請等利便性向上率 100%（R8年度）</li> </ul>
	○ペーパーレスの推進 目標： <ul style="list-style-type: none"> <li>・書類の廃棄、文書庫への引継ぎによる県庁舎執務室内の書類削減</li> <li>・令和6年度における職員一人当たりの削減量 ▲1.6 f m（書棚2列分・文書箱4箱分）</li> </ul>
	○【見直し・効率化】内部統制事務：各所属でのチェック機能を高め、再発防止に重点を置いた見直し 目標： <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度末までに見直し、R7内部統制事務の運用に反映</li> </ul>

所属名	総務事務・厚生課
R6年度に特に注力する事項（目標）	○心と体の健康づくりの推進 目標： ストレスチェックの集団分析結果を活用した職場環境改善の取組実施率 90%以上
	○職員のニーズに合った福利厚生事業の運営 目標： カフェテリアプラン助成を利用する職員の割合 70%以上
	○【見直し・効率化】デジタル技術を活用した総務事務の効率化 目標： 令和5年度に取り組んだモデルの実用化および新たなモデルの作成

所属名	財政課
R6年度に特に注力する事項（目標）	○持続可能な財政基盤の確立 目標： ・財政調整基金残高 100億円程度維持 ・臨財債を除く県債残高(令和8年度末) 7,200億円程度
	○ヒト・財源のシフトをさらに推進する取組の実施 目標： ・集中取組期間の2年目の取組として、事業効果やコストの面から事務・事業を検証し、既存事業を見直し、新たな行政需要へのヒト・財源のシフトをさらに推進する。
	○施設整備に係るより適切な手法の検討 目標： ・県PFI事業の実績等を踏まえ、施設整備にあたっての適切な事業手法を選択できるよう、PPP/PFI手法導入優先的検討方針の取扱も含めて検討を行う
	○【見直し・効率化】事業担当課に対する支援の強化、業務集約化による全庁的な負担軽減 目標： ・PPP/PFI事業に係る対応検討チームにおいて、事業の初期段階から庁内関係課が連携して課題に対する検討に取り組むなど、事業担当課への支援を強化 ・指定管理者の選定に係る委員会を統合し、かかる事務を財産活用推進室に集約化したところであり、施設所管課と連携し、委員会運営に係る事務の効率化を図ることで、全庁的な負担軽減を図る。

所属名	税政課
R6年度に特に注力する事項（目標）	○滋賀にふさわしい税制の検討 目標： ・滋賀県税制審議会を活用した既存税目の超過課税等のあり方検討、ならびに滋賀地域交通計画策定と並行し、地域交通を支える税制度として、交通税に関する検討と議論を進める。
	○適正な課税および県税滞納額の縮減による県税収入の確保 目標： 課税客体の完全捕捉に努め、適正かつ迅速な課税を実施する。滞納整理の早期着手と滞納処分徹底を進めるとともに、市町との連携強化を図ることにより、令和6年度決算における県税滞納額を対前年度1億円の縮減を目指す。
	○【見直し・効率化】収入証紙特別会計の廃止 目標： 証紙徴収に係る県税の収納方法を見直すとともに、収入証紙特別会計の令和7年度末廃止に向けて取組を進める。

所属名	市町振興課
R6年度に特に注力する事項（目標）	○市町に寄り添った的確で迅速な助言・支援 目標： ・年間を通じ、行財政等の課題について情報共有・情報交換に取り組み、常に市町の思いに寄り添って助言・支援を行う。
	○デジタル技術を活用した関係人口の創出等による移住・交流の促進 目標： ・移住施策に取り組む市町への県外からの移住件数の拡大
	○【見直し・効率化】政治団体の政治資金収支報告書・各種届出のオンライン提出の促進 目標： ・政治資金収支報告書・各種届出のインターネット上での提出を促進するため、政治団体に対して、オンラインシステムの利用申請を行うよう周知徹底を図る。

所属名	びわこボートレース局
R6年度に特に注力する事項（目標）	○一般会計への繰出金の確保 目標： ・15億円以上 ・地域や県民にも受け入れられるレジャーパークを目指しつつ、「三方よし」の精神で安定的な繰り出しに努める。
	○【見直し・効率化】利用者数に応じた施設の最適化利用 目標： ・利用者数に応じた投票所の再編を行い、3階エリアについてファミリー層が楽しめるスペースにするなど、新規顧客開発のためのゾーニングを行う。

所属名	行幸啓室
R6年度に特に注力する事項（目標）	○令和7年（2025年）の行幸啓およびお成りに向けた着実な準備 目標： ・多岐にわたる業務の的確な進行管理のもと、多様な関係者との連携・調整を密にし、過不足なく着実に準備を進める。